

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【公開番号】特開2015-46391(P2015-46391A)

【公開日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2015-016

【出願番号】特願2014-154520(P2014-154520)

【国際特許分類】

H 05 B	33/12	(2006.01)
H 01 L	51/50	(2006.01)
H 05 B	33/14	(2006.01)
H 05 B	33/02	(2006.01)
H 05 B	33/04	(2006.01)
H 05 B	33/22	(2006.01)
G 02 B	5/20	(2006.01)

【F I】

H 05 B	33/12	E
H 05 B	33/14	A
H 05 B	33/14	Z
H 05 B	33/02	
H 05 B	33/04	
H 05 B	33/22	Z
H 05 B	33/12	B
G 02 B	5/20	1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月14日(2017.7.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の可撓性基板と、
 前記第1の可撓性基板上のトランジスタと、
 前記トランジスタ上の有機絶縁層と、
 前記トランジスタと電気的に接続する、前記有機絶縁層上の発光素子と、
 前記発光素子上の第2の可撓性基板と、
 前記発光素子及び前記第2の可撓性基板の間の着色層と、を有し、
 前記着色層は前記発光素子と重なり、
 前記有機絶縁層及び前記着色層は、同一の主成分を含む発光装置。

【請求項2】

第1の可撓性基板と、
 前記第1の可撓性基板上のトランジスタと、
 前記トランジスタ上の有機絶縁層と、
 前記トランジスタと電気的に接続する、前記有機絶縁層上の発光素子と、
 前記発光素子上の第2の可撓性基板と、
 前記発光素子及び前記第2の可撓性基板の間の着色層及び遮光層と、を有し、

前記着色層は前記発光素子と重なり、

前記有機絶縁層、前記着色層、及び前記遮光層は、同一の主成分を含む発光装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の発光装置を有し、

前記発光装置の少なくとも一部を曲率半径 1 m m 以上 1 0 0 m m 以下で折り曲げること
ができる電子機器。